

第2章 教育行政

第1節 教育委員会

1 教育委員会

令和元年12月27日付けで吉津健三氏が、高橋金一委員の後任として教育委員に任命された。

また、同日付けで教育長職務代理者に蜂須賀禮子委員が指名された。

職名	氏名	就任年月日	職業	備考
教育長	鈴木 淳一	平成31年 4月1日 (2期目)		福島市
委員 教育長職務代理者 (R1.12.27~)	蜂須賀 禮子	平成28年 10月19日 (2期目)	生花販売	大熊町
委員	浅川 なおみ	平成31年 4月1日 (2期目)	ピアノ教室主宰	白河市
委員	吉津 健三	令和元年 12月27日	弁護士	郡山市
委員	正木 好男	平成29年 12月24日	会社顧問	いわき市
委員	岩本 光正	平成28年 10月19日	会社取締役	会津美里町
委員 教育長職務代理者 (H29.12.24~R1.12.26)	高橋 金一	平成27年 12月27日 (2期目) ※令和元年12月26日まで	弁護士	郡山市

2 審議事項

4月定例会(H31.4.19)

- 審議事項
 - (1) 福島県立図書館利用規則の一部を改正する規則について
 - (2) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (3) 福島県立博物館運営協議会委員の任免について
 - (4) 福島県社会教育委員の任免について
 - (5) 教職員の懲戒処分について
 - (6) 令和2年度福島県公立学校教員採用予定者数について
 - (7) 教育長臨時代理による処理の承認について
- 報告事項
 - (1) 平成31年度福島県立高等学校入学者選抜の結果について
 - (2) 平成31年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜の結果について

(3) 訓告処分等について

(4) 訴訟取下げについて

5月定例会(R1.5.17)

- 審議事項
 - (1) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 令和2年度使用教科用図書の採択等に関する答申について
 - (2) 訓告処分等について

6月定例会(R1.6.14)

- 審議事項
 - (1) 教育長臨時代理により処理の承認について
 - (2) 令和2年度使用教科用図書調査研究資料について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

7月定例会(R1.7.19)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教育長臨時代理による処理の承認について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

8月定例会(R1.8.21)

- 審議事項
 - (1) 平成30年度福島県教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価結果について
 - (2) 令和2年度使用県立中学校の教科用図書の採択について
 - (3) 令和2年度使用県立特別支援学校小学部・中学部の教科用図書の採択について
 - (4) 令和元年度福島県指定文化財の指定に係る諮問について
 - (5) 令和元年度福島県指定重要文化財指定の解除に係る諮問について
 - (6) 教職員の懲戒処分について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

9月定例会(R1.9.6)

- 審議事項
 - (1) 福島県指定重要文化財の指定について
 - (2) 福島県指定重要文化財の指定の解除について
 - (3) 令和2年度福島県立中学校入学者選抜について
 - (4) 令和2年度福島県立特別支援学校高等部入学者選抜について
 - (5) 令和元年度教育・文化関係表彰について
 - (6) 令和2年度福島県公立学校実習助手採用予定者数及び令和2年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用予定者数について
 - (7) 令和元年度9月補正予算案（教育委員会関係部分）について
 - (8) 福島県市町村立学校職員の任期付職員の採用等に関する条例案について
 - (9) 福島県市町村立学校職員の会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する条例案について
 - (10) 工事請負契約案について
 - (11) 工事請負契約の一部変更案について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

10月定例会(R1.10.18)

- 審議事項
 - (1) 福島県教育財産管理規則の一部を改正する規則について
 - (2) 令和2年度福島県立学校生徒募集定員について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 福島県立図書館協議会委員の任命について
 - (6) 令和元年度教育・文化関係表彰について
 - (7) 令和2年度人事異動方針及び各人事異動実施要項について
 - (8) 令和2年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について
 - (9) 退職手当の支給制限について
 - (10) 退職手当の支給制限について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

11月定例会(R1.11.15)

- 審議事項
 - (1) 教科用図書採択地区を設定した件の一部改正について
 - (2) 令和元年度中学生・高校生の科学・技術研究論文野口英世賞の受賞者について
 - (3) 令和元年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文朝河貫一賞の受賞者について
 - (4) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (5) 教職員の懲戒処分について
 - (6) 令和元年度教育・文化関係表彰について

- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

12月定例会(R1.12.6)

- 審議事項
 - (1) 教職員の懲戒処分について
 - (2) 教職員の懲戒処分について
 - (3) 教職員の懲戒処分について
 - (4) 教職員の懲戒処分について
 - (5) 令和元年度12月補正予算案（教育委員会関係部分）について
 - (6) 福島県立特別支援学校条例の一部を改正する条例案について
 - (7) 福島県市町村立学校職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案について
 - (8) 技能労務職員の給与及び勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について
 - (9) 教育職員の免許状に関する規則の一部を改正する規則について
 - (10) 福島県市町村立学校職員の標準的な職及び標準職務遂行能力を定める規則の一部を改正する規則について
 - (11) 福島県教育委員会における学校運営協議会の設置等に関する規則について
 - (12) 退職手当の支給制限について
 - (13) 退職手当の支給制限について
 - (14) 退職手当の支給制限について

- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について

- 協議事項
 - (1) 県立高等学校改革における令和3年度統合校の校名案について

1月定例会(R2.1.17)

- 審議事項
 - (1) 福島県立特別支援学校学則の一部を改正する規則について
 - (2) 令和元年度教育・文化関係表彰について
 - (3) 令和2年度福島県公立学校実習助手採用候補者選考試験の合格者について
 - (4) 令和2年度福島県公立学校寄宿舎指導員採用候補者選考試験の合格者について
 - (5) 教育長臨時代理による処理の承認について

- 報告事項
 - (1) 令和2年度人事異動（教員系）について
 - (2) 訓告処分等について

- 協議事項
 - (1) 中高一貫教育後期実施計画（案）について

2月定例会(R2.2.7)

- 審議事項
 - (1) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について

- (2) 福島県指定文化財の指定について
- (3) 令和2年度当初予算案（教育委員会関係部分）について
- (4) 福島県立博物館条例の一部を改正する条例案について
- (5) 福島県立高等学校条例の一部を改正する条例案について
- (6) 工事請負契約の一部変更案について
- 報告事項
 - (1) 訓告処分等について
- 協議事項
 - (1) 福島県子ども読書活動推進計画（第四次）（案）について
 - (2) 令和2年度人事異動（教員系）について

臨時会 (R2. 2. 27)

- 審議事項
 - (1) 福島県立高等学校学則の一部を改正する規則について
 - (2) 福島県市町村立学校職員の会計年度任用職員の給与及び勤務時間等に関する規則について
 - (3) 福島県子ども読書活動推進計画（第四次）について
 - (4) 中高一貫教育後期実施計画について
 - (5) 教育長臨時代理による処理の承認について
 - (6) 令和2年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長（教員系）の人事について
 - (7) 令和2年度市町村公立学校長の人事について
 - (8) 令和2年度県立学校長の人事について
- 報告事項
 - (1) 令和2年度教育庁及び教育機関の主要職員（教員系）の人事について
 - (2) 令和2年度市町村公立学校副校長及び教頭の人事について
 - (3) 令和2年度県立学校副校長及び教頭の人事について
 - (4) 訴訟判決について
 - (5) 令和3年度福島県公立学校教員採用候補者選考試験について

3月定例会 (R2. 3. 23)

- 審議事項
 - (1) 頑張る学校応援プランについて
 - (2) 第6次福島県総合教育計画令和2年度アクションプランについて
 - (3) 第7次福島県総合教育計画の策定方針について
 - (4) 福島県文化財保存活用大綱について
 - (5) 福島県教育庁組織規則の一部を改正する規則について
 - (6) 福島県立美術館組織規則及び福島県立博物館組織規則の一部を改正する規則について
 - (7) 福島県立美術館条例施行規則の一部を改正する規則について
 - (8) 福島県立博物館条例施行規則の一部を改正する規則について

- (9) 福島県市町村立学校職員の人事評価に関する規則の一部を改正する規則について
- (10) 福島県教育委員会における学校運営協議会の設置等に関する規則の一部を改正する規則について
- (11) 福島県立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
- (12) 教育長臨時代理による処理の承認について
- (13) 教科用図書選定審議会委員の任命について
- (14) 教職員の分限処分について
- (15) 令和2年度教育庁職員（課室長以上・教育事務所長）及び教育機関の長の人事について
- (16) 令和2年度市町村公立学校長の人事について
- (17) 令和2年度県立学校長の人事について
- (18) 令和元年度教育・文化関係表彰について
- (19) 教育長臨時代理による処理の承認について
- 報告事項
 - (1) 教職員多忙化解消アクションプランについて
 - (2) 令和2年度教育庁及び教育機関の職員の人事について
 - (3) 令和2年度市町村公立学校教職員の人事について
 - (4) 令和2年度県立学校教職員の人事について
 - (5) 訓告処分等について

第2節 教育庁組織

政策監	永田	嗣昭
教育次長（業務）	加藤	知道
県立高校改革監	白石	孝之
教育庁参事（人事・企画）	上槿	治男

課室名	職名	課長等名
教育総務課	課長	高瀬 智美
	庁主幹兼副課長	工藤 宇裕
	庁企画主幹兼副課長	田母神 賢一
財務課	課長	青木 浩司
	主幹兼副課長	佐藤 純二
施設財産室	室長	蓬田 慎一
	主幹	佐藤 信夫
職員課	課長	奥寺 洋暁
	主幹兼副課長	中野 茂
	主幹	菅野 与彦
福利課	課長	長根 由里子
	主幹兼副課長	高橋 篤
社会教育課	課長	鈴木 基之
	主幹兼副課長	新井 里美
	主幹	仁科 英俊
文化財課	課長	鈴木 俊明
義務教育課	課長	福地 裕之
	主幹兼副課長	浅倉 孝
	主幹	長谷川 浩文
	主幹	横山 修
高校教育課	課長	鈴木 芳人
	主幹兼副課長	武藤 正久
	主幹	高野 敦史
	主幹	箱崎 兼一
県立高校改革室	室長	柳沼 英樹
特別支援教育課	課長	西村 則昌
	主幹兼副課長	赤坂 剛
	主幹	酒井 浩樹
健康教育課	課長	佐藤 文男
	主幹兼副課長	國分 亮子
	主幹	佐藤 隆宏

教育事務所

教育事務所	所長・次長名	課長名
県北	所長 阿部 央	総務社会教育(兼) 佐藤裕一郎 学校教育(兼) 丹治 光夫
	次長(総) 佐藤裕一郎	
	次長(業) 丹治 光夫	
県中	所長 石幡 良子	総務社会教育(兼) 柳沼 正一 学校教育(兼) 芳賀 俊幸
	次長(総) 柳沼 正一	
	次長(業) 芳賀 俊幸	
県南	所長 板橋 竜男	総務社会教育(兼) 馬目 常寿 学校教育(兼) 鈴木 雅人
	次長(総) 馬目 常寿	
	次長(業) 鈴木 雅人	
会津	所長 近藤 静雄	総務社会教育(兼) 浦野 昭浩 学校教育(兼) 高橋 伸明
	次長(総) 浦野 昭浩	
	次長(業) 高橋 伸明	
南会津	所長 石本 浩一	総務社会教育(兼) 高橋 正敏 学校教育(兼) 井上久仁夫
	次長(総) 高橋 正敏	
	次長(業) 井上久仁夫	
相双	所長 佐藤 由弘	総務社会教育(兼) 島 裕之 学校教育(兼) 塙 広治
	次長(総) 島 裕之	
	次長(業) 塙 広治	
いわき	所長 林 和樹	総務社会教育(兼) 山口 聖一 学校教育(兼) 塚本 英樹
	次長(総) 山口 聖一	
	次長(業) 塚本 英樹	

所管教育機関等

教育機関名	所館長名	次長等名
福島県教育センター	渡辺 惣吾	次長 菅野 昭人 総務管理部長(兼) 菅野 昭人 研究・研修部長 味原 正美
		主幹兼事務長 立花 敏孝 企画事業部長 熊谷 賀久
		副館長 島田 淳
		副館長 鶴見 宏幸
福島県立図書館	杉浦 孝幸	副館長 星 貴文
		主幹兼次長 宍戸 佐壽
福島県立美術館	早川 博明	副館長 鶴見 宏幸
福島県立博物館	赤坂 憲雄	副館長 星 貴文
福島県会津自然の家	渡部 光毅	主幹兼次長 宍戸 佐壽

第3節 企画調整

1 教職員現職教育計画の策定

(1) 福島県公立学校教職員現職教育計画

教職員現職教育担当者会議を開催し、平成31年度の教職員研修計画及び研究学校(地区)指定計画について、策定に関する協議や関係課・所間の調整を行い、「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定した。

(2) 策定計画

回	開催期日	会議の場所	議事及び協議の概要
第1回	元.6.6	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○平成31年度教職員現職教育計画作成日程について ○平成31年度教職員現職教育計画策定に向けた全体及び各課・所の検討事項について ○平成31年度教職員現職教育計画作成方針を踏まえ、関係課・所において、予算化等を見通した研修の改善及び新設、変更、廃止の案の検討について
第2回	元.9.3	西庁舎12階 仮設会議室	<ul style="list-style-type: none"> ○第1回会議の確認事項について ○各課・所における予算化等を見通した具体的計画案について ○平成31年度教職員現職教育計画修正案作成の関係課・所への依頼について

(3) 構成員

教育総務課

企画主幹兼副課長、主任主査

社会教育課

主幹、主任社会教育主事、社会教育主事兼指導主事

義務教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

健康教育課

主幹、主任指導主事、主任栄養技師、指導主事

特別支援教育課

主幹兼副課長、主任指導主事、管理主事、指導主事

高校教育課

課長、主幹、主任管理主事、主任指導主事、管理主事、指導主事

教育センター

研究・研修部長、主任指導主事、指導主事

特別支援教育センター

企画事業部長、主任指導主事

2 調整事務

(1) 教育庁内企画・調整事務

- ア 総合教育計画に関する連絡調整
- イ 県教委重点施策に関する連絡調整
- ウ 県教委点検・評価に関する連絡調整
- エ 県重点事業に関する連絡調整
- オ 県重点施策評価に関する連絡調整
- カ 政府予算対策に関する連絡調整
- キ 双葉地区教育構想推進事業に関する連絡調整

(2) 知事部局との調整事務

- ア 総務部
行財政改革推進本部、総合教育会議、風評・風化プロジェクトチーム、内部統制推進本部会議
- イ 危機管理部
安全で安心な県づくり推進庁内連絡会議、国土強靱化地域計画推進連絡会議
- ウ 企画調整部
県総合計画・復興計画関係、施策評価関係、県重点事業関係、政府予算対策活動関係、過疎・中山間地域経営戦略本部会議、電子社会推進本部会議、政策調整会議、新生ふくしま復興推進本部会議、地産地消推進会議、地域創生・人口減少対策本部会議、原子力損害対策協議会、復興対策推進プロジェクトチーム、東京オリンピック・パラリンピック関連事業推進本部会議、東京2020オリンピック聖火リレーふくしま実行委員会
- エ 生活環境部
ユニバーサルデザイン推進本部会議、環境影響評価庁内連絡会議、循環型社会形成庁内推進会議、景観形成推進庁内連絡会議、特定外来生物対応庁内連絡会議、野生鳥獣被害対策庁内連絡会議、男女共同参画推進本部会議、環境・エネルギー施策推進庁内連絡会議、ふくしま地球温暖化対策推進本部会議、除染・廃棄物対策推進会議
- オ 保健福祉部
子育て支援推進本部会議、高齢社会対策推進本部会議
青少年健全育成推進本部
- カ 商工労働部
企業誘致・立地企業振興対策本部会議、商業まちづくり推進調整会議
- キ 農林水産部
ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動、ふくしま植樹祭実行委員会
- ク 土木部
県内建設業振興に係る庁内連絡会議
- ケ 警察本部
福島県被害者等支援連絡協議会

第4節 広報・広聴

1 教育委員会だより

(1) 編集方針

教育庁の新陣容や教育行政の諸領域の中から広報を要する事項及び教職員に周知させる必要のあるものを掲載し、教育委員会施策の徹底を図る。

(2) 内容

県教育委員会重点施策、県教育委員会所管予算、県教育委員名簿・県教育庁新陣容、県教育庁の組織及び電話番号一覧

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ

イ 部数 4,000部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、県内公立学校、私立団体連合会、各教育関係機関、北海道・東北各県教育委員会等

(5) 発行時期

4月に発行

2 教育年報

(1) 編集方針

平成30年度の県教育行政の成果を記録し、将来に残る公的記録として保存する。

(2) 内容

平成30年度の本県教育行政の実績

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 274ページ

イ 部数 150部

(4) 配布対象

市町村教育委員会、各教育関係機関

3 福島県の教育

(1) 編集方針

本県教育の実績と教育行政の要点を図式化して掲載し、教育庁への来訪者等に配布し、本県教育に対する理解を図る。

(2) 内容

本県教育の実情及び教育行政の要点

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 8ページ カラー

イ 部数 950部

(4) 配布対象

教育機関への来訪者、市町村教育委員会、県内公立学校、各教育関係機関、各都道府県教育委員会等

4 ふくしま教育ニュース

(1) 編集方針

県教育委員会の教育行政施策、実績等を県民、特に保護者を対象として伝えることにより、本県教育に対する理解を図る。7月・11月の年2回発行した。

(2) 内容

ア 第52号(7月発行)

チャレンジ!子どもがふみだす体験活動応援事業

ふたば未来学園中学校開校

福島県地域学校活性化推進構想(特集)

ふくしまっ子ごはんコンテスト

中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

福島県文化財センター白河館(まほろん)企画展の案内

ふくしま子どもLINE相談

相談窓口の案内

イ 第53号(11月発行)

農業系高等学校GAP教育の推進

聴覚支援学校福島校 新校舎完成

福島県算数・数学ジュニアオリンピック

科学の甲子園ジュニア福島県大会

特別支援学校作業技能大会

オリンピック・パラリンピック教育推進事業

「県庁にみんなの声を届けよう!」プロジェクト

新たな県立高等学校入試制度

統合型校務支援システムの導入

相談窓口の案内

(3) 規格・部数

ア 規格 A4判 4ページ カラー

イ 部数 第52号 235,000部

第53号 232,000部

(4) 配布対象

県内公立学校の全保護者、県外に避難している児童生徒の保護者、私立幼稚園及び小・中・高等学校、市町村教育委員会、各教育関係機関等

5 教育庁各課・所・館の広報誌・紙

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
教育総務課	福島県の教育	本県教育の実情及び教育行政の要点を図式化して表示	1	A 4	8	950	教育機関への来訪者、教育関係機関等
	教育委員会だより	県教育長あいさつ、教育施策及び予算、県教育委員名簿、県教育庁新陣容、組織及び電話番号	1	A 4	4	4,000	県内公立学校、私学団体連合会、教育関係機関等
	教育年報	前年度の県教育行政の実績	1	A 4	274	150	市町村教委、教育関係機関等
	ふくしま教育ニュース	県教育委員会の教育行政施策、実績、事業のお知らせ等	2	A 4	4	第 52 号 235,000 第 53 号 232,000	県内公立学校の全保護者・教職員、教育関係機関等
福利課	ふくしま福利だより	教職員の福利・厚生事業の紹介等	4	A 4	16 12	各 20,500	全教職員（5月、7月） （11月、2月）
社会教育課	社会教育	社会教育に関する情報、活動状況の取りまとめ	1	A 4	13	—	Webサイトに掲載
県立高校教育改革室	リーフレット(地域とともに、地域ならではの魅力ある県立高校を目指して)	「県立高校コミュニティスクール推進事業」事業報告	1	A 4	8	1500	関係市町村、関係市町村教委、県内県立学校、教育関係機関等
教育センター	要 覧	教育センターについての沿革、設置の趣旨、組織、予算、事業内容を掲載	1	A 4	20	160	教育関係機関等
	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や県内教員の教育研究等についての紹介及び教育センターからの案内	2	A 4	8	—	Webサイトに掲載
	研 究 紀 要	研究の成果をとりまとめて刊行し、本県学校教育の向上に資する。	1	A 4	75	1,000	学校、教育関係機関等
	長期研究員個人研究報告書	長期研究員の個人研究の成果をとりまとめた報告書	1	A 4	42	150	教育関係機関等
特別支援教育センター	リーフレット	事業内容・研修講座名等	1	A 5	4	100	来所者 Webサイトに掲載
	所報特別支援教育	センターの取組や国内外の教育動向等	1	A 4	28	200	関係機関
	要 覧	沿革、事業体系、事業概要、施設・設備	1	A 4	16	50	関係機関
	研 究 紀 要	調査研究・教育研究及び長期研究員の個人研究の成果報告	1	A 4	60	120	関係機関 Webサイトに掲載

課・所・館名	広報誌・紙名	内 容	発行回数	判	ページ	発行部数	配 布 対 象
図 書 館	館 報 あ づ ま	図書館業務の広報	1	A 4	6	500	図書館・関係機関
	福島県立図書館要覧	県立図書館の概況	1	A 4	22	—	Webサイトに掲載
	福島県郷土資料情報報	郷土文献の研究情報誌	1	A 4	20	100	図書館・関係機関 Webサイトに掲載
美 術 館	県立美術館年報	前年度の事業実績	1	A 4	70	600	関係機関
	ミュージアムカレンダー	年間事業紹介	1	B 5		32,000	関係機関、来館者等
	美術館ニュース ART INFORMATION	企画展・普及事業等の案内	6	A 4 三折		各 11,000	関係機関、来館者等
博 物 館	県立博物館年報	前年度の事業実績	1	A 4	98	400	関係機関
	月行事予定表	月行事予定	6	A 4	1	各 14,000	関係機関
	博物館だより	行事予定、企画展案内、講演要旨等	4	A 4	8	各 4,000	学校、関係機関
	企画展ポスター・リーフレット	企画展3回分・次年度企画展1回分	4	ポスターB2 リーフレットA4		12,500 286,000	学校、関係機関 関係機関、来館者等
	年間催し物案内	主催行事などの紹介	1	220×400 観音折り		45,000	関係機関、来館者等
自 然 の 家	企画事業案内(郡山)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	会津自然の家だより(会津)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	1	—	Webサイトに掲載
	利用案内(いわき)	施設概要、利用方法等	2	A 4	32	1,500	関係機関
	しおね(いわき)	企画事業内容、実施期日、対象等	1	A 4	8	2,000	関係機関
	リーフレット(いわき)	施設概要、全体図等	2	A 3	2	1,500	関係機関
白 文 化 財 セ ン タ ー 館	年 報	沿革、事業の概要、入館者統計、予算等	1	A 4	34	500	関係機関
	まほろん通信	イベントの内容、体験学習	4	A 4	4	各 4,000	関係機関、利用者等
	研 究 紀 要	学芸員の調査、研究成果の報告	1	A 4	114	500	関係機関

6 記者発表及び資料提供(投げ込み)件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
記者発表	-	1	-	1	-	1	1	1	1	-	1	1	8
資料提供	26	21	18	34	23	21	43	35	37	43	27	37	365

7 教育フォーラム

(1) タイトル

令和元年度教育フォーラム「福島イノベーション・コースト構想の実現に貢献する人材育成」成果報告会

(2) 主催

福島県、福島県教育委員会、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構

(3) 目的

県民各層との対話を通して、多様化している県民の意向を積極的かつ多角的に把握し、県民と一体となった開かれた教育を推進するために実施した。

今年度は、浜通り地域等の対象校と広域連携事業対象校の令和元年度の取組の成果を県内各地域の高校生が、他者との交流や協議、体験的な学びをとおして共有し、社会の仕組みを変える先端技術や独創的なアイデアをそれぞれの置かれている立場で自ら創造しようとする態度を育成した。また、パネルディスカッションにおいて、異なる教育プログラムにおいて取り組んできた各分野の代表生徒が意見交換をすることにより、それぞれの成果を共有し、新たな気付きの場とするとともに、今後の活動のさらなる充実を図るための一助とし、言語活動を通して、新しい社会を生き抜くための資質や能力の向上を目指した。

さらに、復興に向けて力強く歩み続ける本県の高校生の姿を広く発信した。

(4) コンセプト

ア 学びの場

先進的な研究を進めている技術者の講話を聴き、社会の仕組みを変える新しい技術に思いをはせる場

イ 交流の場

自校の取組と比較しながら対象各校の発表を聴き、取組内容について情報やアイデアを他者と共有する場

ウ 体験の場

参加企業等の担当者からの研究テーマの説明や自社製品の技術紹介と体験利用をとおして、一線で活躍する技術者のものづくりへの情熱を感じる場

(5) 開催日時

令和2年2月23日（日）10:00～15:30

(6) 会場

日本大学工学部 70号館1階

(7) 内容

ア 開会式

イ【第1部】基調講演

(ア) テーマ

「君たちに伝えたいスタンフォード大学で学んだこと」

(イ) 講師

西村 俊彦（スタンフォード大学 創薬・創医療機器開発機構所長）

ウ【第2部】ポスターセッションによる対象校生徒の活動報告会（高等学校15校）

Aグループ 磐城高校、原町高校、勿来工業高校、磐城農業高校、いわき海星高校、小高産業技術高校、岩瀬農業高校、本宮高校

Bグループ 相馬高校、平工業高校、川俣高校、相馬農業高校、ふたば未来学園高校、会津工業高校、塙工業高校

エ【第3部】体験活動 ※参加企業等による先端技術紹介（協力企業等8社）

マクタアメニティー株式会社、株式会社アルサ、株式会社菊池製作所、ミツフジ株式会社、檜葉遠隔技術開発センター、日本大学工学部（環境分野）、日経BP（イノベーション情報発信）、福島イノベーション・コースト構想推進機構（福島イノベ構想紹介）

オ パネルディスカッション

(ア) テーマ

「福島イノベーション・コースト構想の実現に向けて」

(イ) コーディネーター

高瀬 智美（教育庁教育総務課長）

(ウ) パネリスト 高校生4名

磐城高等学校

（実践事業対象校〔トッパーリーダー育成事業〕）

相馬農業高等学校

（実践事業対象校〔農・水産業人材育成事業〕）

平工業高等学校

（実践事業対象校〔工業人材育成事業〕）

小高産業技術高等学校

（先行して取り組んでいる高校）の代表者各1名

カ 振り返りとまとめ、閉会式

教育委員感想、教育長講評を含む。

(8) 出席者

ア 来賓

齋喜 徳史（文部科学省初等中等教育局教育課程課課長補佐）

鍛冶原 誠（経済産業省大臣官房福島復興推進グループ福島新産業・雇用創出推進室室長補佐）

田中 耕太郎（復興庁福島復興局次長）

小沢 喜仁（福島大学共生システム理工学類教授）

齊藤 仁志（国立研究開発法人科学技術振興機構〔JST〕）

イ 福島イノベーション・コースト構想推進機構

伊藤 泰夫（専務理事兼事務局長）

岸 孝志（コーポレート部門 部門長）

山内 正之（教育・人材育成部長）

安齋 吾朗（産業人材育成支援課長）

飯田 喜之（人材育成支援課長）

ウ 福島県教育委員会

蜂須賀 禮子（県教育委員会委員）

正木 好男（県教育委員会委員）

岩本 光正（県教育委員会委員）

吉津 健三（県教育委員会委員）

鈴木 淳一（県教育委員会教育長）
永田 嗣昭（政策監）
加藤 知道（教育次長）
白石 孝之（県立高校改革監）
上檜 治男（教育庁参事）
高瀬 智美（教育総務課長）
鈴木 芳人（高校教育課長）
柳沼 英樹（県立高校改革室長）

エ 参加者数 約250名

8 「ふくしま教育の日」啓発推進事業

県民の教育に対する理解、関心を高め、学校教育、社会教育及び文化の充実、発展を期するため、平成15年3月にふくしま教育の日条例を制定し、ふくしま教育の日(11月1日)及びふくしま教育週間(11月1日～7日)を設けている。当該期間を含むその前後の期間において「教育の日」の趣旨にふさわしい取組が実施されるよう、市町村や関係機関に働きかけた。さらに、福島県教育委員会ウェブサイトを実施計画を掲載し、広く県民に参加を呼びかけた。

9 「県庁に みんなの声を 届けよう！」プロジェクト

子どもたちの郷土愛を育み、将来の復興の担い手としての意識を喚起することを目的として実施した。子どもたちが「ふくしまのよりよい未来をつくるために～子どもたちの提言～」をまとめ、知事や教育長等の前で発表する機会を設定することにより、県政に子どもが参画する機会とした。さらに、テーマを『オリンピック・パラリンピックとふくしま』とし、国際理解の促進やスポーツの価値・ふくしまの魅力への理解を深めるとともに、オリパラの機運醸成を図った。

(1) 日時 令和元年8月1日(木) 10:20～16:00

(2) 参加者 小学5・6年生22名、引率者17名

(3) 内容

- ア パラリンピック競技(ボッチャ)体験
講師 村上 普子(福島県ボッチャ協会)
- イ 講話
(ア) テーマ
「スポーツと障がい者の社会参加 共に生きる社会をめざして」
(イ) 講師
増子 恵美(〔公財〕福島県障がい者スポーツ協会書記)
- ウ グループワーク
テーマ「オリンピック・パラリンピックとふくしま」
グループごとのテーマ(4班編制)
「オリパラとふくしまの『スポーツ』・『おもてなし』
・『バリアフリー』・『未来』」
- エ 発表・意見交換(知事及び教育委員へ)
- オ 修了式

第5節 調査統計

令和元年度において実施した調査統計事業は、次のとおりである。

1 学校統計要覧

令和元年5月1日現在で調査した「学校基本調査」(指定統計13号)の調査結果及び県独自に実施している進路状況等に関する調査結果に基づき、学校数、児童生徒数、教職員等の基本的事項や県内の中学生・高校生の進路状況等を収録した「学校統計要覧」を作成し、県教委ホームページで公開した。

2 地方教育費調査(一般統計)

この調査は、平成30会計年度において、学校教育、社会教育、生涯学習関連及び教育行政における県及び市町村(教育事務組合を含む。)から支出された経費並びに授業料等の収入の実態及び地方教育行政機関の組織等の状況を明らかにし、教育諸施策を検討・立案するための基礎資料を得ることを目的として文部科学省が実施したものである。

3 学校教員統計調査(基幹統計)

この調査は、学校の教員構成並びに教員の個人属性、職務態様及び異動状況等を明らかにすることを目的として文部科学省が実施したものである。

4 進路状況等に関する調査

この調査は、中学校・高等学校生徒の進路希望及び卒業後の状況を調査し、進路指導及び高等学校の適正配置計画並びに課程・学科等の整備計画の基礎資料を得ることを目的とした県単独調査である。

第6節 教職員の給与

令和元年度の教職員の給与改定については、令和元年10月2日の県人事委員会給与勧告に基づき、給料月額及び諸手当について、令和元年12月県議会及び令和2年2月県議会において、給与条例等の一部改正が提案され、議決・公布された。その概要は、次のとおりである。

1 給料関係

(1) 給料月額(平成31年4月1日適用)

全ての給料表において、30歳台半ばまでの職員が在職する号給について、給料月額が引き上げられた。

(2) 給料の調整額(平成31年4月1日適用)

給料月額の改定に伴い、一部の調整基本額が改められた。

(3) 昇格時号給対応表(平成31年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、昇格時号給対応表の一部が改められた。

(4) 降格時号給対応表(平成31年4月1日適用)

給料表の改定に伴い、降格時号給対応表の一部が改められた。

2 諸手当関係

(1) 給料の特別調整額（令和2年4月1日適用）

美術館等に係る支給対象の職及び区分について、次のとおり改められた。

給料の特別調整額を受ける職員の職	給料の特別調整額の区分
美術館館長、博物館館長	2種
美術館副館長、博物館副館長	3種
美術館事務長、博物館事務長	5種

(2) 扶養手当（令和2年4月1日適用）

配偶者及び父母等の手当額が次のとおり改められた。

区分	手当額		
	行政職給料表 7級以下相当	行政職給料表 8級相当	行政職給料表 9級以上相当
配偶者	6,500円	3,500円	支給しない
父母等	各6,500円	各3,500円	支給しない
子	各10,000円		
特定期間にある子の加算額	各5,000円		

(3) 住居手当（令和2年4月1日適用）

最高支給限度額が27,000円から28,000円に改められた。

(4) 通勤手当（令和2年4月1日適用）

全額支給限度額が63,000円から64,000円に改められた。

(5) へき地手当等（令和2年4月1日適用）

市町村立学校の統廃合等に伴い、へき地学校等の級別区分が改められた。

(6) 宿日直手当（平成31年4月1日適用）

「本来の勤務に従事しないで行う庁舎、校舎、設備、備品、書類等の保全、外部との連絡、文書の收受、庁舎又は校舎の監視等を目的とする勤務」について、手当額が5,300円から5,400円に（5時間未満の宿日直勤務については、2,650円から2,700円に）改められた。

(7) 期末・勤勉手当（令和元年12月1日適用）

支給割合が次のとおり改められた。

◎一般職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.275ヶ月	1.275ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.925ヶ月	0.925ヶ月	1.85ヶ月	4.40ヶ月
改正後 (元年度)	期末手当	1.275ヶ月	1.275ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.925ヶ月	0.975ヶ月	1.90ヶ月	4.45ヶ月
(2年度)	期末手当	1.275ヶ月	1.275ヶ月	2.55ヶ月	計
	勤勉手当	0.95ヶ月	0.95ヶ月	1.90ヶ月	4.45ヶ月

◎特定幹部職員

	区分	6月期	12月期	年間支給割合	
改正前	期末手当	1.075ヶ月	1.075ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	1.125ヶ月	1.125ヶ月	2.25ヶ月	4.40ヶ月
改正後 (元年度)	期末手当	1.075ヶ月	1.075ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	1.125ヶ月	1.175ヶ月	2.30ヶ月	4.45ヶ月
(2年度)	期末手当	1.075ヶ月	1.075ヶ月	2.15ヶ月	計
	勤勉手当	1.15ヶ月	1.15ヶ月	2.30ヶ月	4.45ヶ月

第7節 附属機関等

1 福島県社会教育委員の会議

根拠法令

社会教育法（昭和24年法律第207号）第15条並びに福島県社会教育委員の委嘱の基準、定数及び任期に関する条例（昭和24年福島県条例第56条）

目的

社会教育に関する諸計画を立案するとともに教育委員会の諮問に応じ、意見を述べたり必要な研究調査を行ったりし、社会教育に関して教育長を経て教育委員会に助言する。

(1) 福島県社会教育委員

任期 平成30年6月20日～令和2年6月19日

区分	氏名	役職名	備考
学校教育関係者	高橋 澄子	小学校長会（新地町立新地小学校長）	
	土屋 好二	中学校長会（白河市立白河南中学校長）	
	吉津三千彦	高等学校長会（福島県立福島南高等学校長）	
社会教育関係団体の関係者	黒田知恵子	福島県公民館連絡協議会会長	
	中島 功	福島県市町村社会教育委員連絡協議会顧問	
	齋藤 裕子	福島県PTA連合会母親代表理事	
	石川 美知	福島県婦人団体連合会評議員	
	山岸 敦子	ガールスカウト福島県連盟長	
	齋藤雄一郎	福島県商工会連合会	副議長
	清水 国明	NPO法人明日飛子ども自立の里理事長	
家庭教育関係者	星 尚子	福島県家庭教育インストラクター連絡協議会理事	
学識関係者	木暮 照正	福島大学地域創造支援センター教授	議長
	前川 直哉	福島大学総合教育研究センター特任准教授	
	本多 環	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター特任教授	
公募	佐藤 房枝	農業	
	大友 靖子	主婦	

(2) 定例会の開催

ア 第1回定例会

(ア) 日時 令和元年7月16日(火)

(イ) 場所 教育委員室

(ウ) 内容

a 報告事項

令和元年度社会教育に関する主要施策・事業の概要について

b 審議事項

本県における社会教育推進のあり方について

イ 第2回定例会

(ア) 日時 令和2年2月4日(火)

(イ) 場所 第1特別委員会室

(ウ) 内容

a 報告事項

令和元年度社会教育関係事業報告について
令和2年度社会教育関係主要施策・事業(案)について

b 審議事項

「地域全体で子どもを育てる協働体制の実現に向けて」～「提言」から2年間の取り組みを振り返る～

2 福島県文化財保護審議会**(1) 福島県文化財保護審議会委員**

任期 平成31年4月1日～令和3年3月31日

氏名	所属等	担当分野	備考
阿部 俊夫	元郡山女子大学短期大学部准教授・地方史研究協議会	古文書・歴史資料	
荒木 志伸	山形大学基盤教育院准教授・東北史学会・日本考古学協会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
伊藤 喜良	福島大学名誉教授・日本経済大学非常勤講師・歴史学研究会・東北史学会・日本史研究会	古文書(中世)・書跡・典籍	会長
丹野 香須美	東北福祉大学兼任講師・いわき市文化財保護審議会委員・広野町文化財保護審議会委員・日本民俗学会・日本社会科教育学会・福島県民俗学会	有・無形民俗文化財	
狩野 勝重	元日本大学教授・工学博士・日本建築学会・伝統建築文化推進協議会・文化財景観保全調査室(個人事務所)	建造物・伝統的建造物群	
佐藤 琴	山形大学学術研究院准教授・美術史学会・国際浮世絵学会	絵画	

氏名	所属等	担当分野	備考
永広 昌之	東北大学総合学術博物館・東北大学名誉教授・日本地質学会・日本古生物学会・地学団体研究会・日本博物科学会	天然記念物（地質鉱物・古生物）	
鈴木 俊行	公益財団法人福島県都市公園・緑化協会福島空港公園事務所長・樹木医学会・日本造園学会・日本桜学会	天然記念物（植物）	副会長
高橋 あけみ	仙台市博物館副館長・美術史学会・漆工史学会・茶の湯文化学会	工芸品・染織	
竹原 明秀	岩手大学教授・日本生態学会・植生学会・日本植物学会	天然記念物（植生）	
辻 秀人	東北学院大学教授・日本考古学協会・福島県考古学会・全日本博物館学会	考古資料・史跡・埋蔵文化財	
塘 忠顕	福島大学教授・日本動物学会・日本昆虫学会・日本発生生物学会	天然記念物（動物）	
藤井 英二郎	千葉大学名誉教授・日本庭園学会・日本造園学会	史跡・名勝（庭園）	
守谷 早苗	福島市史編纂室（嘱託員）・東北史学会・国史談話会	歴史資料	
若林 繁	元東京家政大学教授・美術史学会	彫刻	

(2) 会議

ア 第1回審議会

- (ア) 期日 令和元年8月30日(金)
- (イ) 場所 福島県本庁舎2階 第2特別委員会室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議
 - b 福島県指定文化財等の指定解除

イ 第2回審議会

- (ア) 期日 令和2年1月23日(木)
- (イ) 場所 福島県本庁舎2階 第2特別委員会室
- (ウ) 内容
 - a 福島県指定文化財候補等の審議
 - b 新たな県指定文化財の候補について

第8節 市町村教育委員会

1 概要

本県の市町村教育委員会数は、令和元年5月1日現在、13市46町村1組合の計60である。

県教育委員会は、市町村教育委員会連絡協議会、都市教育長協議会、町村教育長協議会等との密接な連絡、連携のもとに、教育行政の適正な事務の執行と管理に努めている。

2 組織

令和元年5月1日現在、県内各市町村教育委員会の委員長及び教育長は次のとおりである。

教育委員会名	委員長・職務代理者	教育長
県北(8)		
福島市	佐藤 玲子	本間 稔
伊達郡川俣町	高橋 友憲	佐久間裕晴
伊達市	高野 保夫	菅野 善昌
伊達郡桑折町	柴田 宣広	会田 智康
伊達郡国見町	高橋 幸子	岡崎 忠昭
二本松市	佐藤 英之	丹野 学
安達郡大玉村	伊藤 忠和	佐藤 吉郎
本宮市	谷 明子	青田 誠
県中(12)		
郡山市	阿部 垂巳	小野 義明
須賀川市	阿部 昭光	森合 義衛
岩瀬郡鏡石町	力丸 次雄	渡部 修一

岩瀬郡天栄村	小針 克彦	久保 直紀
石川郡石川町	草野 文明	小玉 陽彦
石川郡玉川村	近内 弘道	鈴木 文雄
石川郡平田村	久保木日出子	有賀 真道
石川郡浅川町	結城 久典	真田 秀男
石川郡古殿町	阿久津華子	矢吹 伸一
田村市	増田 英子	飯村 新市
田村郡三春町	武地 優子	高橋 正美
田村郡小野町	榊原 貞治	西牧 裕司
県南(9)		
白河市	金子 英昭	芳賀 祐司
西白河郡西郷村	勝又千賀子	鈴木 且雪
西白河郡中島村	水野谷剛夫	面川 三雄
西白河郡矢吹町	水戸 勘十	栗林 正樹
西白河郡泉崎村	山田 睦子	(欠 員)

教育委員会名	委員長・職務代理者	教 育 長
東白川郡棚倉町	松本 一夫	松本 市郎
東白川郡埴町	岩井 義道	秦 公男
東白川郡矢祭町	益子 敬	(欠 員)
東白川郡鮫川村	阿久津光市	奥貫 洋
会津(13)		
会津若松市	一ノ瀬美枝	寺木 誠伸
耶麻郡磐梯町	物江 秀典	田中 靖則
耶麻郡猪苗代町	福地 優子	宇南山忠明
喜多方市	遠藤 一幸	大場 健哉
耶麻郡北塩原村	斎藤 弘幸	鈴木 力雄
耶麻郡西会津町	平野マチ子	江添 信城
河沼郡会津坂下町	白井美由希	鈴木 茂雄
河沼郡湯川村	伊藤 幸喜	五十嵐長孝
河沼郡柳津町	鈴木 礼	神田 順一
大沼郡会津美里町	小関れい子	新田 銀一
大沼郡三島町	阿部 和彦	佐藤 孝信
大沼郡金山町	山口 京子	滝沢 敬樹
大沼郡昭和村	齊藤加津代	安藤 哲朗
南会津(5)		
南会津郡南会津町	渡部 謙一	星 英雄
南会津郡下郷町	白石 光史	星 敏恵
南会津郡檜枝岐村	星 茂俊	平野 信之
南会津郡只見町	角田 行雄	渡部 早苗
南会津郡地方広域市町村圏組合	星 敏恵	星 英雄
相双(12)		
相馬郡新地町	高崎 義典	佐々木孝司
相馬市	宗形 明子	堀川 利夫
南相馬市	大石 力彌	大和田博行
相馬郡飯館村	佐藤 眞弘	遠藤 哲
双葉郡浪江町	今野 秀則	畠山熙一郎
双葉郡葛尾村	松本 敬一	小野田敏之
双葉郡双葉町	山本真理子	館下 明夫
双葉郡大熊町	嶋貫 光喜	木村 政文
双葉郡富岡町	関本 征司	石井 賢一
双葉郡川内村	秋元 優子	秋元 正
双葉郡檜葉町	宇佐神正道	青木 洋
双葉郡広野町	根本 修行	松本 正人
いわき(1)		
いわき市	馬目 順一	吉田 尚

3 令和元年度市町村教育委員会援助指導の概要

県教育委員会は、市町村教育委員会教育長会議、新任教育委員研修会を開催して助言指導を行うとともに、教育行政関係の諸資料等を配布して県内市町村教育委員会への援助に努めた。

(1) 平成31年度福島県市町村教育委員会教育長会議

- ア 主催 福島県教育委員会
- イ 期日 平成31年4月11日(木)
- ウ 会場 本庁舎5階 正庁
- エ 出席者 市町村教育委員会教育長 59名
- オ 内容
平成31年度教育庁各課(室)・所の重点施策の説明

(2) 令和元年度福島県市町村教育委員会新任教育委員研修会

- ア 主催 福島県市町村教育委員会連絡協議会
福島県教育委員会
- イ 期日 令和元年11月20日(水)
- ウ 会場 本庁舎5階 正庁
- エ 参加者
平成30年11月20日以降に就任された委員及び、それ以前に就任し未参加の委員26名
- オ 内容
 - 講話
 - ・演題 「教育委員に期待するもの」
 - ・講師 福島県教育委員会教育長 鈴木 淳一
 - 講話
 - ・演題 「教育委員に求められる構えと職責」
 - ・講師 元福島県市町村教育委員会連絡協議会副会長 藤田 克彦
 - 講義
 - ・演題 「教育委員会の組織と運営について」
 - ・講師 福島県教育庁職員課管理主事 吉田 圭輔

第9節 職員団体との話合い

令和元年度における「福島県教職員組合」「福島県高等学校教職員組合」「福島県立高等学校教職員組合」「福島県学校事務労働組合」との話合いのうち、主なものは次のとおりである。

1 福島県教職員組合

(1) 平成31年4月24日

- ア 再任用職員の待遇改善等について
- イ 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- ウ 会計年度任用職員の導入等について
- エ 教員の人員確保について
- オ 教職員の多忙化解消について
- カ ハラスメント対策について
- キ フッ化物洗口について
- ク ふくしま学力調査について

(2) 令和元年 11 月 6 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 公務貢献について
- ウ 教員の人員確保について
- エ 学校事務の共同連携について
- オ 再任用職員の処遇改善について
- カ スクールサポートスタッフの配置拡大について
- キ 学校事務職員の研修について
- ク 教職員の多忙化解消について
- ケ 休暇制度について

(3) 令和元年 11 月 21 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 公務貢献について
- ウ 災害時等の緊急連絡に係る費用弁償について
- エ 会計年度任用職員の導入等について
- オ ハラスメント対策について
- カ 教職員の多忙化解消について
- キ 休暇制度について
- ク 事務職員の研修について
- ケ 勤務時間の客観的な把握について
- コ ふくしま学力調査について

2 福島県高等学校教職員組合

(1) 平成 31 年 4 月 25 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ 養護教諭、学校司書等の配置について
- ウ 通級指導について
- エ 人事評価制度について
- オ 諸手当について
- カ 実習助手単独の引率等について
- キ 教職員の多忙化解消について

(2) 令和元年 11 月 7 日

- ア 教職員の多忙化解消について
- イ 養護教諭、学校司書等の配置について
- ウ 部活動指導員等の外部人材の配置拡大について
- エ 施設・設備等の整備について
- オ G A P 認証について
- カ 人事評価制度について
- キ 諸手当について

(3) 令和元年 11 月 21 日

- ア 県立高等学校改革計画について
- イ G A P 認証について
- ウ 教育環境の充実について
- エ 休暇制度について
- オ 再任用職員の任用及び処遇改善について
- カ 教職員の多忙化解消について

3 福島県立高等学校教職員組合

(1) 平成 31 年 4 月 25 日

- ア 宿日直手当について
- イ 会計年度任用職員の導入等について
- ウ ハラスメント対策について
- エ 人事評価制度について
- オ 情報環境の整備について
- カ 教職員の多忙化解消について
- キ 人事異動について

(2) 令和元年 11 月 7 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 変形労働時間制について
- ウ 宿日直手当について
- エ 部活動指導員について
- オ 会計年度任用職員の導入等について
- カ 人事異動について
- キ 勤務時間の客観的な把握について
- ケ 講師希望者の提出書類について
- コ 教職員の多忙化解消について

(3) 令和元年 11 月 25 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 人事異動について
- ウ 県立高等学校改革計画について
- エ 教職員の多忙化解消について
- オ 勤務時間の管理について
- カ 週休日の業務について

4 福島県学校事務労働組合

(1) 平成 31 年 4 月 24 日

- ア 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- イ 公務貢献について
- ウ 在職者調整の救済措置について
- エ 事務強化加配等について
- オ 再任用職員の任用等について
- カ 学校事務職員の採用制度について
- キ 会計年度任用職員の導入等について

(2) 令和元年 11 月 6 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- ウ 公務貢献について
- エ 再任用職員の任用等について
- オ 任期付職員の導入について
- カ 土曜授業について

(3) 令和元年 11 月 25 日

- ア 人事委員会勧告等について
- イ 学校事務の共同連携と主任主査の拡大について
- ウ 任期付職員の導入について
- エ 再任用職員の任用等について
- オ 事務強化加配等について職員の配置について
- カ 旅費の支給について

第 10 節 審査請求事件及び訴訟事件

1 審査請求事件

令和 2 年 3 月 31 日現在、審査請求事件として審理中のものは 2 件、令和元年度中に裁決したものは、2 件でありその概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
公文書開示一部開示決定取消請求事件	平 29. 10. 31	平 29. 8. 27 付け公文書一部開示決定処分についてその処分取消し及び変更を請求	当該公文書開示請求人	令元. 12. 5 裁決 (一部認容)
退職手当支給制限処分取消請求事件	平 29. 12. 19	平 29. 10. 20 付け退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	元公立学校 教員	審理中
公文書開示一部開示決定取消請求事件	平 30. 12. 7	平 30. 9. 5 付け自己情報開示決定処分についてその処分取消し、全部開示を請求	当該公文書開示請求人	令 2. 3. 17 裁決 (一部認容)
退職手当支給制限処分取消請求事件	令 2. 2. 26	令 12. 6 付け退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	元公立学校 教員	審理中

2 訴訟事件

令和 2 年 3 月 31 日現在、訴訟事件として係属中のものは 2 件、令和元年度中に判決等があったものは 3 件であり、その概要及び進行状況等は下表のとおりである。

請求事件名	請求年月日	請求の内容	請求者	備考
安全な場所で教育を受ける権利の確認等請求事件	平 26. 8. 29 平 27. 1. 14 平 28. 5. 10	安全な場所で教育を受けることができる権利の確認等	県内住民 多数	係属中
損害賠償請求事件	平 29. 6. 6 平 30. 11. 26	義務教育無償とする施策を策定・実施していないという不作為を違法事由として損害賠償を請求	県内住民	平 31. 4. 16 控訴 取下
損害金請求事件	平 30. 9. 21	原告に指導改善研修を実施した事は、裁量権を逸脱・濫用しており、原告に精神的損害を与えたとして損害金を請求	公立学校 教員	令 2. 3. 24 判決 (請求棄却)
懲戒免職処分及び退職手当支給制限処分取消請求事件	令元. 8. 14	平 29. 10. 20 付け懲戒免職処分及び退職手当支給制限処分についてその取消しを請求	公立学校 教員	係争中
授業処分取消請求事件	令元. 11. 22	1 年生時の教育課程に定めのない数学 II・B の授業を行うのは、学習要領に反し、違法であるとして授業実施の取消しを請求	県内住民	令 2. 2. 18 判決 (請求却下)

第 11 節 公益法人等の指導等並びに公益信託の状況

1 公益法人等

令和 2 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益法人等は 50 法人である。

各法人から事業報告書・収支決算書、事業計画書、収支予算書等の提出を求めた。

法人ごとの内訳は下表のとおり。

法人種別	所管する法人数	令和元年度に公益法人又は一般法人に移行した法人数
公益財団法人	26	0
公益社団法人	2	0
一般財団法人	18	0
一般社団法人	3	0
特例民法法人	1	-
計	50	0

2 公益信託

令和 2 年 3 月 31 日現在、県教育委員会の所管に属する公益信託は 3 件である。

なお、令和元年度新たに引き受けを許可した公益信託はない。

第 12 節 表彰及び叙勲

令和元年度教育・文化関係表彰式は、11 月 1 日(金)とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)、令和 2 年 2 月 5 日(水)杉妻会館において、それぞれ厳粛のうちにも盛大に行われた。

また、文部科学大臣による地方教育行政功労者表彰式は 10 月 10 日(木)に文部科学省講堂において、また、教育者表彰式は 1 月 28 日(火)、日本消防会館において、それぞれ行われた。

1 教育・文化関係表彰

(1) 地方教育行政功労者(5 名)

(前)二本松市教育委員会教育長	小泉 裕明
(前)本宮市教育委員会教育長	原瀬久美子
棚倉町教育委員会教育長	松本 市郎
(前)昭和村教育委員会教育長	本名 幸平
(前)大熊町教育委員会委員長	嶋貴 光喜

(2) 学校教育功労者(15 名)

伊達市立保原小学校長	佐々木義通
郡山市立郡山第四中学校長	星 克一
須賀川市立第一中学校長	長場 壮夫
田村市立常葉中学校長	御代田進一
白河市立白河第二小学校長	佐久間芳雄
白河市立みさか小学校長	武藤 誠
喜多方市立第一小学校長	佐川 正人
会津若松市立第三中学校長	歌川 哲由
会津若松市立第四中学校長	菊地 裕二
福島県立福島商業高等学校長	小林 喜則
福島県立福島工業高等学校長	松本 明倫
福島県立郡山東高等学校長	瀬谷真理子
福島県立磐城高等学校長	阿部 武彦
福島県立視覚支援学校長	須田 康仁
福島県立あぶくま支援学校長	上妻 弘

(3) 社会教育関係

ア 社会教育功労者(2 名)	
西郷村社会教育委員副委員長	橋場八代子
(前)北会津地区社会教育委員連絡協議会会長	森 武久
イ 功績顕著な団体・施設(3 団体・4 施設)	
(社会教育団体)	
郡山市立栞山神小学校父母と教師の会	
郡山市立芳山小学校父母と先生の会	
白河市立東北中学校 P T A	
(社会教育施設)	
福島市飯坂学習センター	
郡山市立行徳地域公民館	
泉崎村中央公民館	
会津若松市湊公民館	

(4) 文化財保護関係

ア 文化財保護功労者(2 名)	
(元)三春町文化財保護審議会議長	佐久間信次
(元)矢吹町文化財保護審議会議長	藤田 正雄

(5) 学校体育・学校保健関係

ア 学校保健功労者(4 名)	
二本松市立二本松南小学校学校歯科医	安田 明弘
いわき市立玉川中学校学校薬剤師	関 洋美
福島県立福島高等学校学校薬剤師	加藤 英文
福島県立福島東高等学校学校医	佐藤 武寿

(6) へき地教育関係

ア へき地教育功労者(1 名)	
河沼郡柳津町立会津柳津学園中学校長	高橋 弘悦
イ 功績顕著な団体(2 団体)	
会津若松市立湊中学校	
南会津郡南会津町立伊南小学校	

(7) 特別支援教育関係

ア 特別支援教育功勞者(1名)

公益財団法人星総合病院医師 鶴岡 美果

(8) 永年勤続関係

	小学校	中学校	県立学校	教育庁	計
校長	38	13	5		56
教頭	29	17	12		58
教員等	253	148	178		579
計	320	178	195	17	710

(9) 特別功績者

ア 児童・生徒(団体)の部(7団体)

- 福島市立野田小学校マーチングバンドクラブ
- 白河市立白河第一小学校特設器楽クラブ
- 郡山市立郡山第五中学校合唱部
- 福島県立ふたば未来学園中学校男子バドミントン部
- 福島県立ふたば未来学園中学校女子バドミントン部
- 福島県立郡山高等学校合唱部
- 福島県立ふたば未来学園高等学校女子バドミントン部

イ 優秀教職員の部(25名)

桑折町立半田醸芳小学校	教 諭	中島美和子
二本松市立二本松南小学校	教 諭	蛭田 功子
郡山市立明健小学校	教 諭	鈴木 泰宏
須賀川市立第一小学校	教 諭	鈴木あや子
石川町立石川小学校	教 諭	佐藤 英紀
田村市立滝根小学校	教 諭	藤井 千絵
白河市立みさか小学校	教 諭	荒井 智
白河市立小野田小学校	教 諭	角田 真弓
矢祭町立矢祭小学校	教 諭	戸井田 瞳
喜多方市立第一小学校	教 諭	伊藤 大
喜多方市立松山小学校	教 諭	岩本美和子
相馬市立中村第二小学校	教 諭	武口 友幸
いわき市立小名浜第一学校	教 諭	青木 祐造
いわき市立小名浜東小学校	教 諭	一ノ瀬由美
福島市立福島第四中学校	養護教諭	小針 知絵
桑折町立醸芳中学校	教 諭	星 雅人
郡山市立小原田中学校	教 諭	堰上 浩明
須賀川市立第一中学校	教 諭	長谷川 淳
磐梯町立磐梯中学校	教 諭	石井千加子
福島県立福島南高等学校	教 諭	水野 慎也
福島県立郡山商業高等学校	教 諭	横田 日夏
福島県立郡山高等学校	教 諭	佐藤 朋子
福島県立会津学鳳高等学校	教 諭	丸山 弘樹
福島県立会津農林高等学校	教 諭	矢澤 郁代
福島県立四倉高等学校	教 諭	三瓶 容子

ウ 優秀教職員(団体)の部(2団体)

- 福島市立福島第三小学校教職員
- 福島県立平支援学校高等部教職員

2 文部科学大臣表彰

(1) 地方教育行政功勞者表彰(6名)

福島県教育委員会委員	高橋 金一
古殿町教育委員会委員	鈴木 茂
(前)鏡石町教育委員会教育長	高原孝一郎
(前)川俣町教育委員会委員	渡辺 信二
矢吹町教育委員会委員	藤井 義男
(前)檜枝岐村教育委員会教育長	平野 信之

(2) 教育者表彰(3名)

喜多方市立第一小学校長	佐川 正人
福島県立磐城高等学校長	阿部 武彦
会津若松市立第三中学校長	歌川 哲由

3 春・秋・高齢者叙勲、死亡叙位・叙勲

(1) 平成31年春の叙勲

ア 瑞宝小綬章

西間木 薫(教育功勞)	元福島県立盲学校長)
遠藤 宏之(教育功勞)	元福島県立相馬高等学校長)

イ 瑞宝双光章

佐藤 正敏(教育功勞)	元白河市立みさか小学校長)
宮前 貢(教育功勞)	元郡山市立金透小学校長)
齋藤 秀一(教育功勞)	元会津若松市立城北小学校長)
鈴木 進一(教育功勞)	元原町市立原町第三小学校長)
大坂 恭一(教育功勞)	元会津坂下町立坂下小学校長)
齋藤 修一(教育功勞)	元南会津町立田島小学校長)

(2) 令和元年秋の叙勲

ア 瑞宝小綬章

花井 宣明(教育功勞)	元福島県立葵高等学校長)
新井田 大(教育功勞)	元福島県立福島高等学校長)

イ 瑞宝双光章

遠藤 育夫(教育功勞)	元郡山市立金透小学校長)
杉浦 伸吉(教育功勞)	元南相馬市立原町第一中学校長)
佐藤 憲(教育功勞)	元会津若松市立鶴城小学校長)
伊藤 涉(教育功勞)	元白河市立白河中央中学校長)
三輪 幹治(教育功勞)	元田村市立船引小学校長)
西 信一(教育功勞)	元南相馬市立原町第一小学校長)

(3) 高齢者叙勲(平成31年4月1日~令和2年3月1日発令)

ア 瑞宝小綬章(教育功勞)

伊藤 豊松	(元福島県立会津女子高等学校長)
橋本 政一	(元福島県立会津養護学校長)
小山 恒雄	(元福島県立富岡高等学校長)
千葉 光治	(元福島県立西会津高等学校長)
大河原博美	(元福島県立長沼高等学校長)
小室 昭	(元福島県立須賀川養護学校長)
橋 浩二郎	(元福島県立川俣高等学校長)

イ 瑞宝双光章(教育功勞)

志賀 英隆	(元原町市立原町第一小学校長)
小川 盛夫	(元会津高田町立第二中学校長)
菅野 茂	(元双葉町立双葉北小学校長)
酒井 忠男	(元平田村立蓬田小学校長)

増子 淳 (元滝根町立広瀬小学校校長)
野口 久雄 (元郡山市立永盛小学校校長)
高木 仁 (元いわき市立大浦小学校校長)
鎌田 益實 (元浪江町立荊野小学校校長)
大河原正二 (元広野町立広野小学校校長)
石井 健雄 (元福島市立庭塚小学校校長)
堀金 保男 (元只見町立只見中学校校長)
鈴木 知 (元いわき市立中央台北中学校校長)
松本 省三 (元喜多方市立松山小学校校長)
加藤 哲夫 (元福島市立大森小学校校長)
金子 實 (元河東町立河東第一小学校校長)
星 孝男 (元河東町立河東第三小学校校長)
石井 宏 (元富岡町立富岡第二中学校校長)
須藤 泰将 (元いわき市立長倉小学校校長)
菅原 弘 (元国見町立県北中学校校長)
高橋 郁雄 (元いわき市立湯本第二小学校校長)
箭内 幸男 (元須賀川市立柏城小学校校長)
佐藤 政己 (元いわき市立平第二小学校校長)
涌井 幸雄 (元原町市立石神第二小学校校長)
角 悟朗 (元三春町船引町学校組合立要田小学校校長)
渡邊 秋男 (元郡山市立日和田小学校校長)
斎藤 利雄 (元須賀川市立大東小学校校長)
佐藤 老松 (元相馬市立中村第一小学校校長)
草野 武文 (元いわき市立赤井小学校校長)
高木 清 (元いわき市立湯本第一小学校校長)
星 英男 (元只見町立明和小学校校長)
水井 俊雄 (元鹿島町立上真野小学校校長)
長谷川和夫 (元会津若松市立第六中学校校長)
根本 晋一 (元いわき市立錦中学校校長)
浅野 榮 (元国見町立小坂小学校校長)
高橋 眞次 (元いわき市立草野中学校校長)
高橋 彦士 (元いわき市立小川小学校校長)
星 義夫 (元会津若松市立第三中学校校長)
横山 成雄 (元福島市立野田小学校校長)
棚木 和夫 (元福島市立信陵中学校校長)
鈴木 亀郎 (元いわき市立鹿島小学校校長)
佐藤 光代 (元郡山市立安積第三小学校校長)
近藤 昌好 (元西郷村立熊倉小学校校長)
高荒 敏雄 (元霊山町立小国小学校校長)
猪越 孝義 (元須賀川市立西袋第一小学校校長)
菅野 家作 (元二本松市立二本松北小学校校長)
大内 好藏 (元いわき市立好間第四小学校校長)
大竹 秀雄 (元岩代町立小浜小学校校長)
渡辺 福英 (元相馬市立中村第二中学校校長)
荒川 登 (元小高町立小高小学校校長)
金田 充夫 (元喜多方市立岩月小学校校長)

(4) 死亡叙位・叙勲

《令和元年度》

ア 従五位・瑞宝小綬章

影山 清 (元福島県立小名浜高等学校校長)

平山 宏 (元福島県立保原高等学校校長)

金谷 兼明 (元福島県立石川高等学校校長)

イ 従五位・瑞宝双光章

小川兼太郎 (元浪江町立浪江小学校校長)

板垣 正彦 (元福島市立福島養護学校校長)

ウ 従五位

中丸 良彦 (元福島市立福島養護学校校長)

藤岡興八郎 (元福島県立勿来高等学校校長)

大内 昭市 (元二本松市立杉田小学校校長)

新保 光昭 (元会津坂下町立金上小学校校長)

渡邊 政男 (元福島県立須賀川養護学校校長)

石河 強 (元福島県立磐城女子高等学校校長)

村田 吉三 (元福島市立福島第二中学校校長)

赤城 良一 (元福島県立勿来工業高等学校校長)

大杉 光夫 (元保原町立上保原小学校校長)

渡邊 豊一 (元田島町立荒海小学校校長)

エ 正六位・瑞宝双光章

鈴木 清身 (元原町市立原町第一小学校校長)

芳賀 俊雄 (元いわき市立草野中学校校長)

半澤 正一 (元福島県立大笹生支援学校校長)

児山 敏夫 (元本宮町立本宮小学校校長)

渡邊惣一郎 (元船引町立移中学校校長)

戸田 英一 (元二本松市立二本松第一中学校校長)

吉田 作 (元浪江町立東中学校校長)

伊藤 正博 (元いわき市立上遠野中学校校長)

田中 淳 (元会津若松市立松長小学校校長)

齋藤 健一 (元福島市立蓬萊東小学校校長)

鈴木 敬男 (元猪苗代町立猪苗代小学校校長)

馬場 理作 (元田島町立針生小学校校長)

安齋 健一 (元本宮町立本宮第二中学校校長)

菅野 時男 (元福島市立野田中学校校長)

野尻 昇助 (元いわき市立小名浜東小学校校長)

猪野 衛雄 (元福島市立福島第四中学校校長)

オ 正六位

宇田 俊雄 (元猪苗代町立千里小学校校長)

佐藤 幸一 (元新鶴村立新鶴小学校校長)

室井 和秀 (元田島町立田島第二小学校校長)

上野 秀夫 (元新鶴村立新鶴小学校校長)

寺川 智 (元会津若松市立第一中学校校長)

佐藤 正躬 (元いわき市立小名浜第一小学校校長)

近内多喜夫 (元塙町立塙小学校校長)

渡邊 浩 (元富岡町立富岡第二小学校校長)

鈴木 博 (元いわき市立宮小学校校長)

草野 文弥 (元いわき市立勿来第一小学校校長)

菅家 利彦 (元いわき市立久之浜第一小学校校長)

吉川 貞司 (元郡山市立小原田中学校校長)

長嶺 敏 (元会津若松市立第一中学校校長)

久保田 誠 (元相馬市立中村第一小学校校長)

齋藤 孝三 (元いわき市立宮小学校校長)

金子 實 (元河東町立河東第一小学校校長)

松田 正直 (元福島市立大森小学校長)
 渡邊 五郎 (元福島市立第二小学校長)
 菅原 文也 (元いわき市立平第三中学校長)
 神 契道 (元西郷村立米小学校長)
 鈴木 悦郎 (元福島県立福島商業高等学校長)
 國分 久榮 (元猪苗代町立千里小学校長)
 鈴木 茂 (元いわき市立好間第一小学校長)
 小山 恒雄 (元福島県立富岡高等学校長)
 橋本 政一 (元福島県立会津養護学校長)
 野口 久雄 (元郡山市立永盛小学校長)
 遠藤 時江 (元郡山市立安子島小学校長)

カ 従六位・瑞宝双光章
 三津間安宏 (元福島市立清水中学校長)
 荒明 誠喜 (元喜多方市立第一中学校長)
 堂山 紀夫 (元大越町立下大越小学校長)

上遠野盛雄 (元船引町立船引中学校長)
 福田 喜和 (元白河市立小田川小学校長)
 安齋 將栄 (元岩代町立小浜小学校長)
 小原 吉雄 (元福島市立下川崎小学校長)
 本田 孝 (元福島市立三河台小学校長)
 高木 義男 (元須賀川市立西袋第一小学校長)

キ 従六位
 菊地 豊 (元猪苗代町立東中学校長)
 高橋 十河 (元二本松市立二本松南小学校長)
 青山 清男 (元会津若松市立行仁小学校長)
 首藤 務 (元福島市立月輪小学校長)
 鷲 茂夫 (元いわき市立内郷第二中学校長)
 今泉 護 (元郡山市立桃見台小学校長)
 佐藤 政己 (元いわき市立平第二小学校長)

第 13 節 奨学育英

1 福島県奨学資金

(1) 貸与金額

区 分	貸 与 月 額
高等学校	国公立 自宅 18,000 円
	自宅外 23,000 円
	私 立 自宅 30,000 円
	自宅外 35,000 円
高等専門学校	18,000 円
大 学	国公立 35,000 円
	私 立 40,000 円
入学一時金 (H25～)	(一括貸与) 500,000 円

(2) 令和元年度の貸与状況

ア 募集期間

(ア) 在学採用

平成 31 年 4 月入学以降～令和元年 6 月 30 日

(イ) 震災特例採用

令和元年 5 月 1 日～7 月 31 日

イ 奨学生決定

(ア) 在学採用

令和元年 8 月 5 日 (高等学校)

令和元年 8 月 5 日 (大学・高等専門学校)

(イ) 震災特例採用

令和元年 9 月 6 日

ウ 貸与状況

区 分	継続貸与	新規貸与		計
		応募者	貸与者	
高等学校 (うち震災特例)	304 人 (160 人)	173 人 (110 人)	169 人 (110 人)	473 人 (270 人)
大 学 高等専門学校	264 人	92 人	69 人	333 人
大学等 入学一時金	—	39 人	34 人	34 人
計	568 人	304 人	272 人	840 人

2 福島県高等学校定時制課程及び通信制課程 修学資金貸与制度

(1) 貸与月額

定時制課程

1～4 学年 14,000 円

通信制課程

1～4 学年 14,000 円

(2) 令和元年度の貸与状況

学 年 別	定時制	通信制	計
1 年 生	0 人	0 人	0 人
2 年 生	1 人	0 人	1 人
3 年 生	1 人	1 人	2 人
4 年 生	1 人	0 人	1 人
計	3 人	1 人	4 人